

医療と介護の連携：医療従事者への調査

最初に、あなたやあなたの所属されている 医療機関について

問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1. 病院 | |
| 2. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有） | |
| 3. 一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無） | |
| 4. 歯科診療所 | 7. 病院の地域連携室 |
| 5. 薬局 | 8. その他 |
| 6. 訪問看護ステーション | 〔具体的に：〕 |

※ もし差し障りがないようでしたら、あなたが所属している医療機関や診療科、事業所の名称、及びスタッフ数をお書きください。

医療機関等の名称：

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 医師(人) | 4. 看護師(人) |
| スタッフ数 2. 歯科医師(人) | 5. 訪問看護師(人) |
| 3. 薬剤師(人) | 6. 医療ソーシャルワーカー(人) |

問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに○)

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 1. 医師 | 3. 薬剤師 | 5. 訪問看護師 |
| 2. 歯科医師 | 4. 看護師 | 6. 医療ソーシャルワーカー |

問3 あなたが所属されている医療機関や事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

1. 第1地区	多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台1～3丁目、若松町、浅間町、緑町
2. 第2地区	白糸台4～6丁目、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
3. 第3地区	天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
4. 第4地区	宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、宮西町、片町
5. 第5地区	日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町1～2丁目、 本宿町3～4丁目、西府町3～4丁目、東芝町
6. 第6地区	美好町3丁目、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町1～2丁目、 西府町1～2、5丁目

在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします

問4 あなたの府中市民への在宅療養支援への取り組み状況についておたずねします。次の（1）は医師の方、（2）は歯科医師・薬剤師、（3）は看護師、（4）は訪問看護師、（5）は医療ソーシャルワーカーの方がそれぞれお答えください。

（1）（医師の方）あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。（①～③それぞれ1つに○）

	行った	行わなかった
①訪問診療・往診	1	2
②訪問看護ステーションへの指示書の交付	1	2
③在宅での看取り	1	2

【次は問5へ進んでください】

（2）（歯科医師、薬剤師の方）あなたは、平成 25 年9月中に在宅療養支援を行いましたか。（①・②それぞれ1つに○）

	行った	行わなかった
①歯科医師による訪問診療	1	2
②訪問調剤管理（薬剤師が患者宅を訪問して服薬状況を確認し新しい薬剤を配置）	1	2

【次は問5へ進んでください】

（3）（看護師の方）あなたの平成 25 年9月中の活動状況をお答えください。（①～③それぞれ1つに○）

	行った	行わなかった
①訪問診療・往診時の看護	1	2
②訪問看護ステーション等への支援	1	2
③在宅での看取りの支援	1	2

【次は問5へ進んでください】

（4）（訪問看護師の方）あなたの平成 25 年9月中の活動状況をお答えください。（①～③それぞれ1つに○）

	行った	行わなかった
①緊急対応時の訪問看護	1	2
②医療保険による訪問看護	1	2
③在宅での看取り	1	2

【次は問5へ進んでください】

(5) (医療ソーシャルワーカーの方) あなたの平成25年9月中の活動状況をお答えください。(①~③それぞれ1つに○)

	行った	行わなかった
①退院支援の相談	1	2
②退院前(時)ケアカンファレンス	1	2
③退院支援	1	2

**全員の方がお答えください
医療と介護の連携の状況とお考えについておたずねします**

問5 あなたは、医療と介護の連携の必要性についてどのようにお考えですか。
(1つに○)

1. 必要である →問6へ 2. 必要でない

問5-1 問5で、「2. 必要でない」と回答した方におたずねします。あなたが
そのように考える理由はつぎのどれですか。(1つに○)

1. 医療と介護は別である 3. その他
2. 制度が異なる [具体的に:]

問6 あなたは、府中市民の在宅療養者への医療と介護は、サービス担当者会議等を通じて連携していると思いますか。(1つに○)

1. 十分連携していると思う 3. 連携が不十分であると思う
2. ある程度連携していると思う } →問7へ 4. ほとんど連携していないと思う

問6-1 問6で、「3. 連携が不十分であると思う」、「4. ほとんど連携していないと思う」と回答した方におたずねします。あなたがそのように考える理由はつぎのどれですか。(3つまで○)

1. 介護保険など福祉の制度がわからない
2. お互いに多忙で連絡がとれない
3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない
4. 交流の場がない
5. 誰と連絡をとればいいのかわからない
6. 介護関係者の医療に関する知識や理解が不足している
7. その他 [具体的に:]

問7 あなたは、退院前（時）カンファレンスやサービス担当者会議に出席したことありますか。（1つに○）

1. ある

2. ない → **問8へ**

問7-1 問7で「1. ある」と回答した方におたずねします。退院前（時）カンファレンスやサービス担当者会議の頻度はどのような状況ですか。具体的にお書きください。

問8 あなたは、介護サービス事業者との間で問題やトラブルの発生を経験したことありますか。（1つに○）

1. ある

2. ない → **問9へ**

問8-1 問8で「1. ある」と回答した方におたずねします。あなたは、どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

問9 あなたが関わるサービス利用者の情報について、次の関係機関、職種への連絡状況をお答えください。（ア.～コ. それぞれ1つに○）

	いほ ない ほとんど とつて	な い ありとつ てい	あ る 程度とつ て	よ くとつて いる
記入例) サービス利用者のかかりつけ医	(1)	2	3	4
ア. 病院	1	2	3	4
イ. サービス利用者のかかりつけ医	1	2	3	4
ウ. 歯科医師	1	2	3	4
エ. 薬剤師	1	2	3	4

	いほんど ない いとつて	あまりとつ てい	ある 程度とつ て	よくとつて いる
記入例) サービス利用者のかかりつけ医	(1)	2	3	4
オ. 地域包括支援センター	1	2	3	4
カ. 訪問看護ステーション	1	2	3	4
キ. 訪問・通所リハビリテーション	1	2	3	4
ク. ケアマネジャー	1	2	3	4
ケ. 訪問介護（ヘルパー）	1	2	3	4
コ. 通所介護（デイサービス）	1	2	3	4

問10 あなたは、今後在宅医療に関してどのようにお考えですか。（1つに○）

1. 関心がある →問11へ
 2. 積極的に関わりたい
 3. 関心がない →問11へ

問10-1 問10で「2. 積極的に関わりたい」と回答した方におたずねします。
 どのように関わりたいとお考えですか。具体的にお書きください。

問11 あなたは、医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。（いくつでも○）

1. 医師・歯科医がケアマネジャーの相談を受けるケアマネタイムの充実
 2. 在宅療養者の情報を共有化する統一的なフォーマットの作成
 3. 医療と介護の連携マニュアルの作成
 4. 医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場の確保
 5. 在宅療養者の緊急時用のベッドの確保
 6. 関係者のためのネット上で連絡がとれるようなしくみ
 7. 医療（病院・診療所）と介護との役割分担
 8. その他〔具体的に： 〕

医師の方におたずねします【問12～問18】

* 歯科医師の方は問20へ、薬剤師の方は問28へ、看護師の方は問33へ、訪問看護師の方は問37へ、医療ソーシャルワーカーの方は問42へ進んでください。

問12 あなたの医療機関では、地域連携の部署を設置していますか。(1つに○)

1. 設置している 3. 設置していない →問13へ

問12-1 問12で「1. 設置している」と回答した方におたずねします。あなたの医療機関における地域連携の部署は、どのような活動を行っていますか。(いくつでも○)

1. 主治医とケアマネジャーとの連携を図るため、地域連携室が窓口となっている
2. 入院時から退院後の相談に応じている
3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している
4. 地域の介護職を交えて退院前(時)カンファレンスを行っている
5. その他〔具体的に：〕

問13 あなたの医療機関や診療科と、他科や他の医療機関との連携はとれていますか。(1つに○)

1. 十分連携している 3. 連携が不十分である
2. ある程度連携している 4. ほとんど連携していない

問14 あなたの医療機関では、在宅療養支援診所の届出を行っていますか。(1つに○)

1. 既に行っている
 2. 今後届出を行う予定である→(　　)年
 3. 検討中
 4. 届出を行う予定はない
- 〔→問15へ〕

問14-1 問14で「4. 届出を行う予定はない」と回答した方におたずねします。その理由はつきのどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 時間がない | 6. ターミナルケアへの対応がわからない |
| 2. 報酬が少ない | 7. 自分がしなくてもいいと思う |
| 3. 特に要請がない | 8. 面倒である |
| 4. 保険請求がわからない | 9. その他 |
| 5. 在宅診療は難しいので不安 | 〔具体的に：〕 |

問15 あなたの医療機関では、在宅医療支援ベッドを確保していますか。（1つに○）

1. 確保している→（　　）床 →（問16へ） 2. 確保していない

問15-1 問15で「2. 確保していない」と回答した方におたずねします。

今後在宅支援ベッドを確保する計画がありますか（1つに○）

1. ある→平成（　　）年 2. 検討中 3. ない

問16 あなたは、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。（1つに○）

1. 確保している→1か月平均（　　）時間程度 2. 確保していない

問17 あなたは、ケアプランの送付と受け取りの必要性についてどのようにお考えですか。（1つに○）

1. 必要性を感じている 3. あまり必要性を感じていない
2. やや必要性を感じている 4. 全く必要性を感じていない

問18 あなたは、介護保険制度及び介護サービスの内容についてどの程度習熟していますか。（1つに○）

1. 十分理解している 3. あまり理解していない
2. やや理解している 4. 全く理解していない

問19 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。（いくつでも○）

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に：〕
6. 特に期待はしていない

【次は問47へ進んでください】

歯科医師の方におたずねします【問20～問27】

問20 あなたは、訪問歯科診療や往診を行っていますか。（1つに○）

1. 行っている 2. 行っていない →問20へ

問 20-1 問 20 で「1. 行っている」とお答えの方におたずねします。あなたは、訪問時に口腔衛生指導等を実施していますか。(1つに○)

1. 実施している 2. 実施していない

問 20-2 あなたは、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。(1つに○)

1. 実施している 2. 実施していない

問 20-3 訪問歯科診療や往診の依頼元はどこですか。(いくつでも○)

- | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 通院していた患者が訪問歯科診療や
往診を受けるようになった | 6. 都立心身障害者口腔保健センター
からの紹介 |
| 2. 以前からのかかりつけ歯科医師 | 7. ケアマネジャー |
| 3. 歯科医師会からの依頼 | 8. 訪問看護ステーション |
| 4. 主治医 | 9. 介護保険サービス事業者 |
| 5. 病院からの紹介 | 10. 本人又は家族 |
| | 11. その他〔具体的に：〕 |

問 20-4 訪問歯科診療や往診で対応可能な治療は何ですか。(いくつでも○)

- | | | |
|-------------|-----------|-------------------|
| 1. 義歯の作成や調整 | 4. 摂食嚥下指導 | 7. その他
〔具体的に：〕 |
| 2. むし歯の治療 | 5. 歯科衛生指導 | |
| 3. 歯周病の治療 | 6. 応急処置のみ | |

問21 今後、依頼があった場合に訪問歯科診療や往診の実施は可能ですか。
(1つに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 依頼があれば、訪問する | 3. 訪問はできない |
| 2. 訪問するが、治療内容によっては
通院してほしい | 4. その他
〔具体的に：〕 |

問22 あなたの診療所では在宅療養支援歯科診療所の届出を行っていますか。
(1つに○)

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 既に行っている | } →問 23 へ |
| 2. 今後届出を行う予定である→() 年 | |
| 3. 検討中 | |
| 4. 届出を行う予定はない | |

問 22-1 問 22 で「4. 届出を行う予定はない」と回答した方におたずねします。
その理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 時間がない | 6. 摂食・嚥下障害への対応がわからない |
| 2. 報酬が少ない | 7. 自分がしなくてもいいと思う |
| 3. 特に要請がない | 8. 面倒である |
| 4. 保険請求がわからない | 9. その他 |
| 5. 在宅の歯科治療は難しいので不安 | 〔具体的に：〕 |

問23 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医と連携していますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 連携している →問24へ | 3. 連携していない |
| 2. あまり連携していない | |

問 23-1 問 23 で「2. あまり連携していない」、「3. 連携していない」と回答した方におたずねします。その理由はつぎのどれですか。(1つに○)

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 必要と思わない | 3. その他 |
| 2. 連携の方法がわからない | 〔具体的に：〕 |

問24 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|---------------|------------|
| 1. 連携している | 2. あまり連携していない | 3. 連携していない |
|-----------|---------------|------------|

問25 あなたは、訪問歯科診療等以外の通常の歯科診療の中で、摂食・嚥下障害のある患者に対して、摂食・嚥下に関する指導等を行っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1. 行っている →問26へ | 2. 行っていない |
|----------------|-----------|

問 25-1 問 25 で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。行っていない理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 知識がない | 4. 行うつもりはない |
| 2. 研修や勉強する場がない | 5. その他 |
| 3. 一人で対応するのは不安 | 〔具体的に：〕 |

問26 あなたは、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問27 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。（いくつでも○）

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に：〕
6. 特に期待はしていない

【次は問47へ進んでください】

薬剤師の方におたずねします【問28～問32】

問28 あなたは、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）の届出を行っていますか。（1つに○）

1. 行っている
2. 行っていない →問28-4へ

問28-1 問28で「1. 行っている」と回答した方におたずねします。あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民の方はいますか。（1つに○）

1. い る →（　）人
2. い ない

問28-2 あなたは、医師との連携はどのようにとっていますか。（1つに○）

1. 処方箋のみのやりとり→問29へ
2. 処方箋以外の連携や指示がある
3. その他〔具体的に：〕 →問29へ

問28-3 問28-2で「2. 処方箋以外の連携や指示がある」と回答した方におたずねします。具体的にどのような手段が用いられていますか。（いくつでも○）

1. 診療情報の提供がある→（① 文 書 ② 口 頭 ③ その他）
2. 訪 問→（① 医師を訪問 ② 医師が薬局を訪問）
3. 電 話 5. 電子メール 7. その他
4. ファックス 6. ケース会議・カンファレンスに参加 〔具体的に：〕

問28-4 問28で「2. 行っていない」と回答した方におたずねします。あなたは、今後、在宅患者訪問薬剤管理指導の届出を行う計画がありますか。
(1つに○)

1. あ る →平成()年 } →問29へ
2. 検討中 } 3. ない

問28-5 問28-4で「3. ない」と回答した方におたずねします。その理由はつぎのどれですか。(いくつでも○)

1. 時間がない
2. 報酬が少ない
3. 特に要請がない
4. 保険請求がわからない
5. 在宅の薬剤管理指導が難しいので不安
6. 在宅の薬剤管理指導の対応がわからない
7. 自分がしなくてもいいと思う
8. 面倒である
9. その他
〔具体的に： 〕

問29 あなたは、府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋をどのくらい取り扱っていますか。(1つに○)

1. あ る →1か月平均()人
2. な い

問30 あなたは、在宅で療養生活を送っている府中市民の方のケアマネジャーと連携していますか。(1つに○)

1. 連携している
2. あまり連携していない
3. 連携していない

問31 あなたは、医療と在宅の間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

問32 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に： 〕
6. 特に期待はしていない
〔次は問47へ〕

看護師の方におたずねします【問33～問36】

問33 あなたは日頃、在宅療養支援の活動をしていますか。(1つに○)

1. している 2. していない →問34へ

問33-1 問33で「1. している」と回答した方におたずねします。どのような
どのような活動を行っていますか。(いくつでも○)

1. 主治医とケアマネジャーとの連携を図るための支援をしている
2. 患者の退院後の相談に応じている
3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している
4. 地域の介護職を交えた退院前(時)カンファレンスに加わっている
5. その他〔具体的に：〕

問34 あなたは、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに○)

1. 確保している→1か月平均(　　)時間程度 2. 確保していない

問35 あなたは、介護保険制度及び介護サービスの内容についてどの程度習熟してい
ますか。(1つに○)

1. 十分理解している
2. やや理解している
3. あまり理解していない
4. 全く理解していない

問36 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。(いくつでも○)

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に：〕
6. 特に期待はしていない

【次は問47へ】

訪問看護師の方におたずねします【問37～問41】

問37 あなたは、在宅医療を実施している医療機関と、連携がとれていると思いますか（ア～ウそれぞれ1つに○）

	全くとれて いない	あまりとれ てない	あ る程度と れてる	い る十分と れて
記入例) 24 時間の支援体制	1	2	3	④
ア. 在宅療養者の医療・看護に関する情報の交換	1	2	3	4
イ. 在宅療養者の急変時の対応	1	2	3	4
ウ. 24 時間の支援体制	1	2	3	4

問37-1 問37で1つでも「1. 全くとれていない」、「あまりとれていない」と在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。

問38 あなたは在宅医療を実践するうえで、何が在宅医療を阻害する要因とお考えですか。それぞれ優先度の高い順に □ 内に番号を記入してください。

① 患者・家族側について

1. 患者や家族の在宅医療に対する受入れ意思の難しさ
2. 家族の在宅医療に伴う介護負担の大きさ
3. 患者・家族の経済的な負担の大きさ
4. 患者・家族の在宅医療を受けるにあたっての情報の不足

第1位 □ 第2位 □ 第3位 □ 第4位 □

② 入院患者を在宅医療へ移行させる病院側について

1. 入院患者に在宅医療につなげようとする意識の低さ
2. 退院支援等を行う力量の不足、在宅医療への移行をコーディネートする専門部署の不足
3. 病院の診療所への逆紹介や患者への退院支援に伴い、算定できる報酬の低さ
4. 在宅医療を提供する医療機関に関する情報の不足

第1位 □ 第2位 □ 第3位 □ 第4位 □

③ 診療所側について

1. 診療所医師の在宅医療に対する熱意の低さや療養生活全般を支える認識不足
2. 在宅医療を提供する人的資源の不足（在宅医療に従事する医師数・看護師数の不足、24時間対応するための協力体制の未整備、在宅医療に関する専門知識・技術の不足等）
3. 診療所が在宅医療の提供に伴い算定できる報酬の低さ
4. 診療所医師の在宅医療に関連する社会資源等の情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

④ 訪問看護ステーション側について

1. 訪問看護師の在宅医療に対する熱意の低さ
2. 訪問看護を提供する人的資源の不足（訪問看護師数の不足、24時間対応できる訪問看護体制の確保の困難性、訪問看護業務の範囲の制限等）
3. 訪問看護ステーションが訪問看護の提供に伴い算定できる報酬の低さ
4. 訪問看護師の在宅医療に関連する社会資源等の情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

⑤ ケアマネジャー側について

1. ケアマネジャーの在宅医療に対する知識や経験の低さ
2. 在宅医療に精通したケアマネジャーの人的資源の不足
3. ケアマネジャーと医療関係者の連携不足
4. ケアマネジャーの在宅医療に関連する社会資源等の情報の不足

第1位 第2位 第3位 第4位

問39 あなたは、在宅医療を実践するうえで、次の1.～5.についてどの状況の改善を優先すべきとお考えですか。優先度の高い順に 内に番号を記入してください。

1. 患者・家族側の状況の改善
2. 患者を在宅医療へ移行させる病院側の状況の改善
3. 在宅医療を担う診療所側の状況の改善
4. 訪問看護を行う訪問看護ステーション側の状況の改善
5. 介護サービスをコーディネートするケアマネジャー側の状況の改善

第1位 第2位 第3位 第4位

問40 あなたは、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書き下さい。

問41 あなたは、介護従事者にどのようなことを期待していますか。（いくつでも○）

1. 医療の知識を深めてほしい
2. 介護職としての専門性や技術力を向上してほしい
3. 本人及び介護現場の状況を積極的に医療職に伝える努力をしてほしい
4. ケアマネジャーとの連携を密に行ってほしい
5. その他〔具体的に：〕
6. 特に期待はしていない

【次は問47へ進んでください】

医療ソーシャルワーカーの方におたずねします

【問42～問46】

問42 あなたは、どのような地域連携活動を行っていますか。（いくつでも○）

1. 主治医とケアマネジャーとの連携を図る窓口となっている
2. 入院時から退院後の相談に応じている
3. 退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している
4. 地域の介護職を交えて退院前（時）カンファレンスを行っている
5. その他〔具体的に：〕

問43 貴医療機関における介護保険施設からの患者の受け入れ状況と転帰、施設に戻ったケースの状況について、あなたが平成25年9月中に担当した人数をご記入ください。

	受け入れ人数		転帰人数		施設に戻った人数	
ア. 介護老人福祉施設		人		人		人
イ. 介護老人保健施設		人		人		人
ウ. 介護療養型医療施設		人		人		人
エ. 有料老人ホーム		人		人		人
オ. ケアハウス		人		人		人
カ. グループホーム		人		人		人

問44 あなたは、介護保険施設とどのように連携していますか。（いくつでも○）

1. 介護保険施設の医師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している
2. 介護保険施設に訪問診療や往診を行っている
3. 介護保険施設と提携している
4. 急変時に受け入れるベッドを確保している
5. その他（具体的に：）

問45 医療機関における介護保険施設入所者の平均在院期間はどのくらいですか。

平均（ ）か月

問46 あなたは、医療と在宅ケアの間で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

**全員の方に、医療と介護の連携における
リハビリテーションについておたずねします**

問47 介護保険における「リハビリテーション」であなたが問題だと思うことはつぎのどれですか。(いくつでも○)

1. 訪問介護などの介護サービスでのリハビリテーションの理念が十分でないこと
2. 通所リハ・訪問リハなど在宅でのリハビリテーションが十分でないこと
3. 通所介護類似の通所リハビリテーションが行われていること
4. 介護従事者にリハビリテーションの知識や情報が不足していること
5. サービス事業所が少なく利用できること
6. リハビリテーションの人材が不足していること
7. その他〔具体的に： 〕

問48 医療と介護の連携における「リハビリテーション」の問題で、あなたが感じることはつぎのどれですか。(いくつでも○)

1. 医療と介護への、連続するシステムが機能していないこと
2. 在宅でのリハビリテーションが十分ではないこと
3. リハビリテーションとケアの境界が明確にされていないこと
4. リハビリテーション職までを含めた多職種連携が進んでいないこと
5. 患者のリハビリテーションに関する情報が共有されていないこと
6. リハビリテーションの効果測定基準が明確でないこと
7. リハビリテーションを包括的に提供できる地域のリハビリ拠点が少ないとこと
8. その他〔具体的に： 〕

問49 医療と介護の連携における「リハビリテーション」について、日頃お考えのこと、また、行政が果たす役割だと思うことを自由にお書きください。

**認知症の人の
医療と介護の連携についておたずねします**

問50 あなたが担当している患者のうち、認知症のある人は何割くらいですか。

割くらい

問51 あなたは認知症の方を治療するときに困ることがありますか。(いくつでも○)

1. 処方した薬の飲み間違いがある
2. 病気に対する適切な対応の仕方がわからない
3. 処方する薬のことがわからない
4. 本人や家族から正確な情報が得られない
5. 治療の方針が理解してもらえない
6. 症状や状態の変化によって治療が難しい
7. その他〔具体的に： 〕
8. 特にない

問52 あなたは、認知症の人の治療を、専門医に紹介することがありますか。

1. ある 2. ない

問 52-1 問 52 で「1. ある」と回答した人におたずねします。どのような目的で照会をしますか。(いくつでも○)

1. 認知症の鑑定診断を依頼する 4. 治療を依頼するため
2. 治療方針の助言を受けるため 5. その他〔具体的に：〕
3. 処遇に関する参考意見を得るため

問 52-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも○)

1. 認知症疾患医療センターの専門医
2. 高齢者医療の専門機関の専門医
3. 高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医
4. その他〔具体的に：〕

問52-3 その時どのようなことが問題になりますか。(いくつでも○)

1. 本人や家族の理解が得られない
2. 適切な医療機関がわからない
3. 照会する先が多忙で時間がかかる
4. 手続きが煩雑で時間がかかる
5. その他〔具体的に：〕

問53 あなたは、次のような研修等を受けたことがありますか。(いくつでも○)

1. 認知症サポーター養成講座
地域のなかで認知症について正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者の研修
2. キャラバン・メイト養成研修
地域の認知症サポーター養成講座の企画や講師を務める指導者を育成する研修
3. かかりつけ医認知症対応力向上研修
かかりつけ医に対し、適切な認知症診断の知識、家族からの話や悩みを聞く姿勢を習得する研修
4. 認知症サポート医養成研修
かかりつけ医への助言など、認知症地域医療体制の中核的役割を担う医師を養成する研修
5. その他〔具体的に：〕

問54 あなたは今後、認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けたいですか。
(1つに○)

1. 受けたい
2. 受けたくない
3. わからない・関心がない

地域包括ケアシステムの構築に向けた
医療と介護の連携についておたずねします

問55 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療と介護の連携は最重要課題であるといわれています。あなたは、これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。((1)～(4)それぞれ2つまで○)

(1) 連携の仕組みづくり(2つまで)

1. 多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
2. 市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する
3. 医療介護の療養連携共通シートをつくる
4. 患者の情報等をネット上で共有するツールを開発する
5. 摂食嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援等の多職種チームをつくる
6. その他〔具体的に：〕

(2) 地域の人材育成（2つまで）

1. 医療と介護の相互理解のための専門研修を進める
2. 宮養士、歯科衛生士等も含めた専門職の人材把握・発掘を行う
3. 多職種が参加して学ぶ事例検討会や学習会を増やす
4. 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす
5. 在宅医療を担う訪問看護師等の人材育成を進める
6. その他〔具体的に：〕

(3) サービス・基盤整備（2つまで）

1. 随時対応の訪問介護看護等の在宅サービスを充実させる
2. 病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる
3. 独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する
4. 医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する
5. 要介護認定の簡素化など末期がん患者等のサービス利用をしやすくする
6. その他〔具体的に：〕

(4) 相談支援・情報提供（2つまで）

1. 市に在宅療養支援相談窓口を設置する
2. 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する
3. かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる
4. 講座等を開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める
5. 市内の医療介護、福祉、社会資源マップを作成する
6. その他〔具体的に：〕

問56 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、その他介護・医療保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見、ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

————ご協力ありがとうございました————